

## 週日の説教

金 大烈 神父 2009年11月4日(水)

### 《家族・それは掛け替えのないもの》

おはようございます

皆様にとって一番心配な事は何でしょうか。一番心配な事！ ご自分のこと以外では何があるのでしょうか。ご自分の事よりいつも心に掛け、心配になる事かも知れません。一番心配になる事！それは“家族”のことでしょう。“家族”の事ですよね。なぜなら、人間の全ての事が実際に“家族”から始まって“家族”で終わるのです。私達が、若い時に一生懸命お金を儲けようとしたことも“家族”という背景があるからそうですよね。“家族”というものは、わずかの事でも十字架になります。そして、わずかの事でも喜びになります。

今日の福音(ルカ 14・25～33)を読みますと、神様に従おうとすれば、何とかついて行こうとすれば、“家族”の関係も全部切らなければならないと解釈する恐れがありますが、しかし、イエス様の御言葉の中に隠されている意味はそうではありません。

イエス様は『自分の十字架を背負ってついて来る者でなければ、だれであれ、私の弟子ではありえない。』とおっしゃったのです。ということは、“家族”をどのような目で見なければならぬか考えてみますと、結局、神様が結んで下さった中で、一番近くて、意味があって、愛さなければいけない関係が“家族”です。ですから皆様が、ある意味で家族的にわがままになってもそれは許されます。自分の“家族”が間違えているのも、客観的に分かっているが、それでも自分の“家族”の味方になる事も、ある意味では許されています。

私も“家族”のことが気になります。そしてどんな“家族”を面談してみても、それぞれに事情があり、何にも無い“家族”はありません。何とか隠したい事など皆持っています。恥を隠しながらも、たまには誇りを見せたい気持ちになっても“家族”はやっぱり十字架です。

皆様、十字架の意味は何でしょうか。十字架は重荷ではありませんね。十字架と重荷の差は何でしょうか。イエス様は『重荷を負って私について来なさい。』とは言われませんでしたね。『十字架を背負ってついて来なさい。』とおっしゃいました。十字架と重荷の一番大きな差は何でしょうか。それは、十字架の中には先ず愛があります。そして希望があります。重荷は、捨てなければならない事です。

今日、皆様の“家族”を思い浮かべて下さいとお願いしたのですが、その“家族”一人一人の方々に対して、多分色々な思いがあると思います。しかし、初めから最後まで手放されない宿題です。神様から頂いた宿題です。この宿題を一番忠実に行う為に頑張ろうとしなければなりません。ですから福音も家庭から始まります。私達は“家族”なしに、又、“家族”を無視しながらどんな正しい道も歩めません。皆様、一番大事な一番尊い物を“家族”に与えて下さい。それに対して神様は、ものすごく厳しく言われると思います。「“家族”一番身内としてお前に与えたこの宝物を何故この様に軽んじたのか。」「何故逃げようとしたのか。」いいえ、そうではありません。私達は本当に何処にいても、死んでも、生きていても“家族”という絆を、この一番大事なものを大切にしなければなりません。“家族”の中でうまく行けば外でもうまく行きます。“家族”の中で正しい生き方が出来れば、外でも正しい模範を見せられます。“家族”の中がうまく行かなければ、外でどんなに活躍していても、それは何の意味もない唯の騒がしい音にすぎません。

皆様、今日の福音をもう一度考えて見ましょう。私も毎日母の事が気になります。「どうしているかな・・・と気になります。」そして、その気になる事が自分の重荷になるかと言えば、いいえ、それは違います。私が一つの生きる意味になります。皆様、“家族”に対して色々な痛みがあると思います。その痛みを、ご自分のものとして受け入れて下さい。そして、何よりも毎日しなければならない事は“家族”の為の祈りだと思います。“家族”の為に祈って下さい。

ありがとうございました。